

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—



平成29年 9月29日
室蘭開発建設部 広報官

報道機関各位

みどりこせんきょう 国道276号 緑跨線橋で通行止めを実施

～橋梁の耐震性能を向上させ、安全・安心を確保します～

室蘭開発建設部は、国道276号 緑跨線橋の耐震性能の向上を目的とした架替工事、緑町2条通交差点～王子通交差点間の車道拡幅・歩道設置・交差点の改良工事等を実施するため、下記のとおり通行止めを行います。

約2年間の通行止め予定となり、道路利用者の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 通行規制区間

国道276号 苦小牧市音羽町(緑町2条通交差点)～苦小牧市新中野町(王子通交差点)
(緑跨線橋を含む、延長L=600m)

2. 通行規制予定期間

平成29年12月4日(月)午前0時から約2年間
(通行規制解除の際には、改めてお知らせします)

3. 通行規制内容

規制期間中は、全日、全面通行止めとなります。

4. 迂回路(別紙1及び別紙2をご参照ください)

車両 : 国道36号～緑町2条通線
歩行者 : 緑町地下道又は音羽町地下道

工事期間中、国道の通行止め区間と交差する苦小牧市道においても、一定期間通行止めを行います。通行止めを行う際には、苦小牧市ホームページ等によりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

苦小牧道路事務所 所長 萬直樹 電話 0144-72-5165

道路整備保全課 課長 小野寺 仁 電話 0143-25-7047

室蘭開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



国道276号 緑跨線橋架替事業

みどりこせんきょう

■事業概要

国道276号 緑跨線橋（昭和40年建設）の耐震性能を向上させるため架け替えを行います。また、架け替えに併せて車道拡幅、歩道設置、交差点の改良等を行います。

この度お知らせする「緑跨線橋架替」事業は右図の箇所にて実施します。

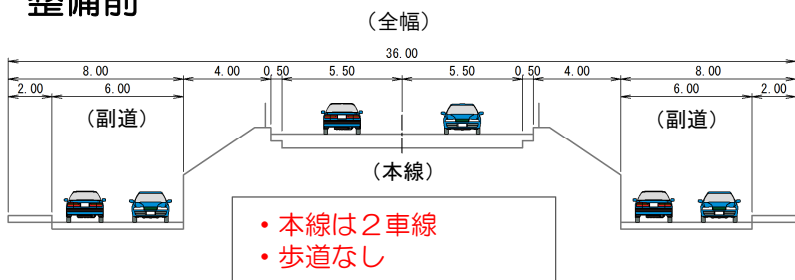
■事業箇所の位置図



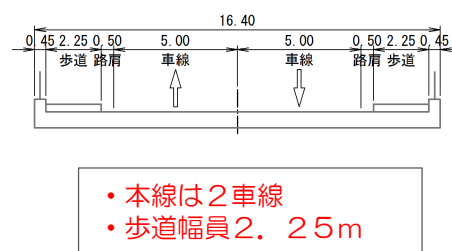
■道路構造の変更

▽跨線橋前後の擁壁部

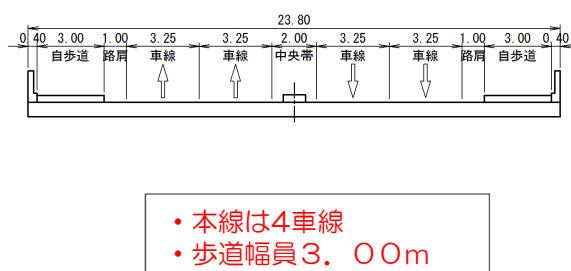
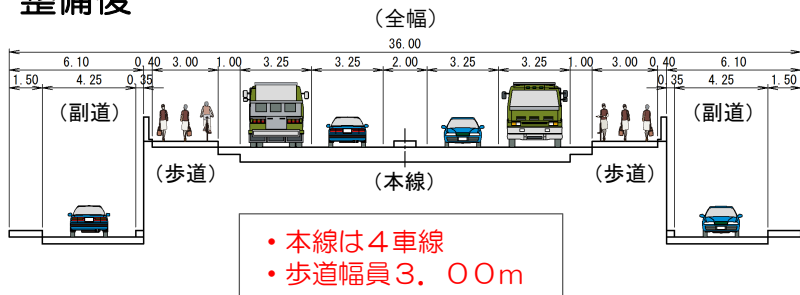
整備前



▽跨線橋部



整備後



■工事概要

緑跨線橋架替事業では、跨線橋の架け替えに併せて、緑町2条通交差点～王子通交差点間の車道拡幅（片側1車線⇒片側2車線）、歩道設置、交差点の改良を行います。

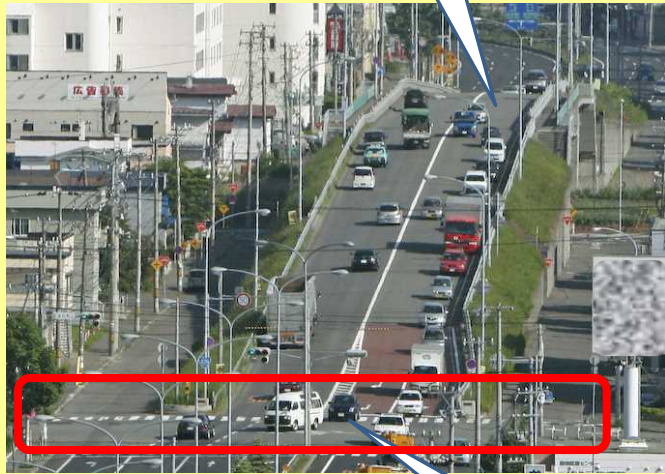
平成29年度は、本線の構造物撤去工事、副道の歩道改良工事及び工事に支障となる電柱や埋設物の移設などを行い、平成30年度から、橋梁の架替工事を行います。

国道276号 緑跨線橋架替事業 完成イメージ図

■現状

大規模地震発生時に重大な
損傷を受けるおそれ

本来、片側1車線であるが
2台並んで通行している実態



支笏湖側から見た緑跨線橋

本線・副道と市道との
交差点が混在

海側から見た緑跨線橋



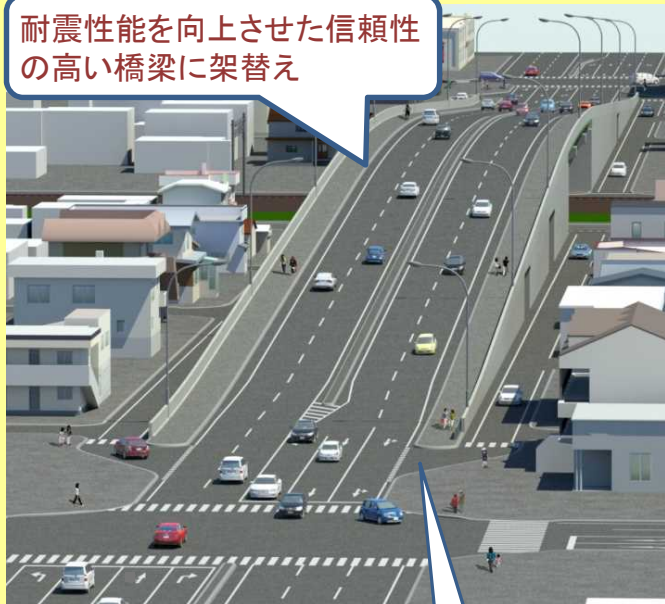
■完成(イメージ)

注)完成イメージは、電柱や道路照明など部分的に省略しています。

全区間に歩道を設置

車線を片側2車線
に拡幅

耐震性能を向上させた信頼性
の高い橋梁に架替え



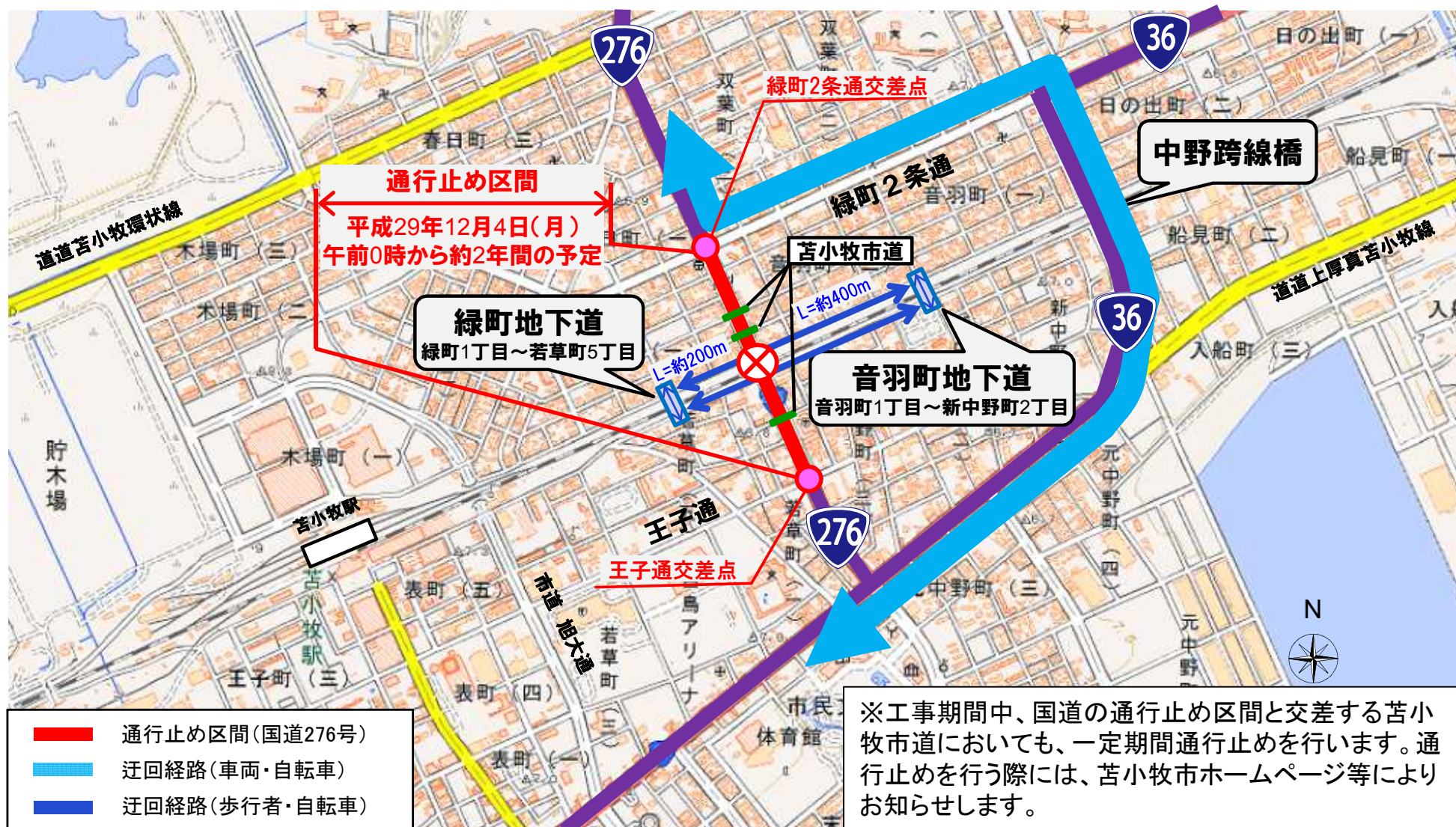
支笏湖側から見た緑跨線橋

市道交差点の手前で
副道を集約

海側から見た緑跨線橋

工事に伴う通行止め区間及び付近の迂回経路

- ・車両は、国道36号(中野跨線橋)及び市道緑町2条通線をご利用ください
- ・歩行者は、緑跨線橋の東西に位置する地下道をご利用ください



※地下道では自転車は「押し歩き」で通行願います。

「電子国土データ」(国土地理院)を加工して作成

工事に伴う通行止め区間及び広域の迂回経路

・通行止め期間中は、JR室蘭本線を横断している周辺道路の利用にご協力ください

